



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月25日

上場会社名 東洋機械金属株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6210 URL <http://www.toyo-mm.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)十亀 和則
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員企画室長 (氏名)二見 泰博 (TEL) (078) 942-2345
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|-------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 5,736 | 13.7 | 451 | 42.3 | 430 | △12.8 | 401 | △2.8 |
| 26年3月期第1四半期 | 5,042 | 2.9 | 317 | △3.8 | 493 | 28.1 | 413 | 47.5 |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 349百万円(△35.7%) 26年3月期第1四半期 544百万円(55.3%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 19 50 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 20 07 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 21,249 | 11,487 | 53.4 |
| 26年3月期 | 21,494 | 11,363 | 52.2 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 11,344百万円 26年3月期 11,222百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — — | 3 00 | — — | 5 00 | 8 00 |
| 27年3月期 | — — | — — | — — | — — | — — |
| 27年3月期(予想) | — — | — — | — — | — — | — — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※27年3月期の配当予想につきましては、未定でございます。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご確認下さい。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 12,500 | 14.5 | 1,050 | 42.2 | 1,050 | 7.8 | 860 | 8.1 | 41 72 |
| 通期 | 24,000 | 1.3 | 1,770 | △1.3 | 1,770 | △18.1 | 1,450 | △17.8 | 70 34 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 27年3月期1Q | 20,703,000株 | 26年3月期 | 20,703,000株 |
| 27年3月期1Q | 89,137株 | 26年3月期 | 89,137株 |
| 27年3月期1Q | 20,613,863株 | 26年3月期1Q | 20,614,242株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・平成27年3月期の配当予想につきましては、業績の状況を見極め中であり、現時点で未定のため開示しておりません。配当予想の開示が可能となった時点で速やかに開示いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 4 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 4 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月～平成26年6月)における国内経済は、消費税増税の影響で消費は一時的に落ちましたが、政府の経済対策等により景気は回復基調にあります。他方、海外では、新興国における経済成長率が低下したものの、先進国においては概ね堅調に推移しました。当社グループに関連する市場は、国内では政府補助金や投資減税を活用した設備投資への需要が増加しました。また、海外では、中国を中心とした東アジアにおいて好調な需要がありました。

このような状況下で、当社製品の受注・売上は、国内では自動車関連のみならず、その他の市場においても引合いが出てまいりました。また、海外では、韓国向けが減少しましたが、引き続き中国におけるIT・電子部品や自動車関連向けは堅調に推移しました。

[射出成形機]

射出成形機につきましては、国内においては、補助金や投資減税を活用した設備投資による需要が増加しました。また、中国等において、スマートフォン関連等の現地部品メーカー向けの中小型機に対する受注が堅調でした。

[ダイカストマシン]

ダイカストマシンにつきましては、中国等では自動車関連向けの需要が堅調でしたが、昨年の同四半期に好調でありました韓国等におけるIT関連向けの受注が減少しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における受注高は、前年同四半期比0.4%減の68億7千万円となりました。また、売上高は、前年同四半期比13.7%増の57億3千6百万円となりました。

従って、当第1四半期連結累計期間における損益につきましては、売上高の増加やコストの低減等によりまして、営業利益は前年同四半期比42.3%増の4億5千1百万円となりました。また、経常利益は当四半期で為替差損が発生しましたことから、前年同四半期比12.8%減の4億3千万円、四半期純利益は前年同四半期比2.8%減の4億1百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて2億1千5百万円減少いたしました。これは、主に受取手形及び売掛金の減少4億6千1百万円、仕掛品の増加1億7千万円及び商品及び製品の増加9千2百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2千9百万円減少いたしました。これは、主に有形固定資産の減少3千万円及び無形固定資産の増加1千万円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3億7千9百万円減少いたしました。これは、主に未払費用の減少1億5千9百万円及び未払法人税等の減少1億5千9百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1千万円増加いたしました。これは、主に退職給付に係る負債の増加9千3百万円及び長期借入金から1年内返済予定の長期借入金への振替による減少7千5百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億2千3百万円増加いたしました。これは、主に四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加1億7千5百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の見通しにつきましては、国内景気は堅調さを維持し、海外では、先進国経済は概ね良好に推移すると思われ
ますが、新興国の景気は先行きに不透明感があります。

当社を取り巻く市場環境は、国内は経済政策による設備投資の需要が続くと予想されます。海外では、自動車関連
やその他の市場における需要は堅調に推移する見込みですが、大口需要先であるIT・電子部品向けが後半にかけて
需要が減速する懸念があります。

引続き、堅調な需要が見込まれる国内外における自動車関連等の市場での受注獲得に注力し、売上高の確保とコス
トの低減により業績の改善に努めます。

従って、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では、平成26年4月24日に発表いた
しました業績予想と変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が97,518千円増加及び退職給付に係る資産が33,235千円減少するとともに、利益剰余金が123,283千円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,843,189 | 5,923,694 |
| 受取手形及び売掛金 | 7,013,450 | 6,551,902 |
| 商品及び製品 | 2,030,308 | 2,123,108 |
| 仕掛品 | 1,298,613 | 1,469,297 |
| 原材料及び貯蔵品 | 422,319 | 387,666 |
| 繰延税金資産 | 28,898 | 14,476 |
| その他 | 370,889 | 321,489 |
| 貸倒引当金 | △9,261 | △8,795 |
| 流動資産合計 | 16,998,409 | 16,782,838 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,977,626 | 1,940,640 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 654,310 | 663,885 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 99,581 | 109,837 |
| 土地 | 814,347 | 814,347 |
| リース資産(純額) | 20,493 | 19,271 |
| 建設仮勘定 | 177,418 | 165,199 |
| 有形固定資産合計 | 3,743,777 | 3,713,183 |
| 無形固定資産 | | |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 220,131 | 230,610 |
| 繰延税金資産 | 87,415 | 90,886 |
| 退職給付に係る資産 | 61,958 | 34,530 |
| その他 | 43,470 | 47,443 |
| 貸倒引当金 | △847 | △785 |
| 投資その他の資産合計 | 412,128 | 402,685 |
| 固定資産合計 | 4,496,559 | 4,467,081 |
| 資産合計 | 21,494,969 | 21,249,920 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 4,260,697 | 4,280,336 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 300,000 | 300,000 |
| 未払費用 | 587,058 | 427,113 |
| 未払法人税等 | 181,797 | 22,212 |
| 未払消費税等 | 17,339 | 21,817 |
| 繰延税金負債 | 2,926 | 2,926 |
| 製品保証引当金 | 80,107 | 83,844 |
| 役員賞与引当金 | 19,540 | 6,675 |
| その他 | 1,144,347 | 1,069,254 |
| 流動負債合計 | 6,593,813 | 6,214,179 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,050,000 | 975,000 |
| 繰延税金負債 | 314,550 | 307,878 |
| 退職給付に係る負債 | 2,148,311 | 2,241,773 |
| その他 | 24,797 | 23,956 |
| 固定負債合計 | 3,537,659 | 3,548,608 |
| 負債合計 | 10,131,473 | 9,762,788 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,506,512 | 2,506,512 |
| 資本剰余金 | 2,028,834 | 2,028,834 |
| 利益剰余金 | 6,824,117 | 6,999,724 |
| 自己株式 | △48,436 | △48,436 |
| 株主資本合計 | 11,311,028 | 11,486,634 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 53,394 | 60,050 |
| 為替換算調整勘定 | 206,543 | 135,605 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △348,947 | △338,210 |
| その他の包括利益累計額合計 | △89,009 | △142,555 |
| 少数株主持分 | 141,477 | 143,052 |
| 純資産合計 | 11,363,496 | 11,487,132 |
| 負債純資産合計 | 21,494,969 | 21,249,920 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 5,042,897 | 5,736,097 |
| 売上原価 | 3,698,632 | 4,152,876 |
| 売上総利益 | 1,344,264 | 1,583,221 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,026,916 | 1,131,672 |
| 営業利益 | 317,348 | 451,548 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,665 | 3,176 |
| 固定資産賃貸料 | 19,075 | 17,887 |
| 為替差益 | 150,809 | - |
| その他 | 15,256 | 5,196 |
| 営業外収益合計 | 186,806 | 26,260 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3,587 | 1,722 |
| 固定資産賃貸費用 | 2,060 | 2,040 |
| 固定資産除却損 | 1,882 | 136 |
| 手形売却損 | 615 | 775 |
| 為替差損 | - | 40,514 |
| その他 | 2,323 | 2,205 |
| 営業外費用合計 | 10,469 | 47,394 |
| 経常利益 | 493,685 | 430,414 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 493,685 | 430,414 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 60,442 | 15,334 |
| 法人税等調整額 | 14,382 | 10,219 |
| 法人税等合計 | 74,825 | 25,553 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 418,860 | 404,860 |
| 少数株主利益 | 5,234 | 2,901 |
| 四半期純利益 | 413,626 | 401,959 |

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 418,860 | 404,860 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,179 | 6,655 |
| 為替換算調整勘定 | 121,143 | △72,264 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 10,736 |
| その他の包括利益合計 | 125,322 | △54,872 |
| 四半期包括利益 | 544,183 | 349,988 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 523,392 | 348,413 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 20,791 | 1,575 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。